

## パートナーシップ・フェスティバル【宇城市】

総事業費	496 千円
交付金額	248 千円

## 地域の実情と課題

令和2年度実施の市民意識調査によれば、女性の社会参画に関する意識高揚などこれまでの取り組みの成果と考えられるものがある一方、固定的な性別役割分担意識やそれに基づく社会慣行が根強く残っていること、宇城市の審議会等の女性登用率の向上、ワーク・ライフ・バランス推進などの課題がある。

## 目的・目標

女性の活躍推進を図るため、ロールモデルとなる女性を迎えて講演会等を計画。目標に来場者の満足度80%以上と掲げていたが、アンケート結果では満足度82.5%と目標を超える評価を得ることができた。参加女性の感想にも「同じ女性として頑張る力をもらった」「困難に遭ってもくじけない前向きな生き方に感銘した」などの多くの声が寄せられ、一定の効果があったと評価できる。

## 事業の特徴

女性活躍推進のロールモデルとして27歳で社長となり、2016年Forbes Woman Awardで革新をもたらすリーダー賞を受賞した理化電子株式会社 代表取締役社長の戸田泰子さんを講師に迎え、講演会を開催すると共に男女共同参画推進事業者表彰、パネル展などを行った。PTAなど各種団体と連携し若い世代を取り込んだ市民向けイベントとして開催した。

## 連携団体

若い現役世代の参加増を図るため市PTA連合会と共催するかたちで実施した。併せて、地域婦人連絡会、行政区長代表者連絡会、老人クラブ連合会、民生・児童委員連絡協議会、企業クラブ加盟各社へ周知や参加の協力を依頼し実施した。また、地元の県立高等学校に対し、ボランティアの協力依頼を行い、高校生ボランティアの協力を得ることができた。

## 事業の効果

今回は市が男女共同参画都市宣言から15年を迎えることもあり、市広報紙に5ページにわたる特集記事を掲載し市民に向けて広く男女共同参画の歩みやパートナーシップ・フェスティバルに関する周知を行った。コロナ感染防止対策として開催時間の短縮や入場者数を定員の半数程度に制限しての開催となったが、来場者は290人とほぼ計画どおりだった。また、アンケートの結果では82.1%の満足度を得ることができた。

## 今後の課題

今回はPTAと共催し若い現役世代の参加増を図ったが、入場者を世代別にみると70代以上が1番多く次いで40代、60代となった。これまでも若い世代の参加が少なく、今後の課題として、幅広い世代の市民に対して男女共同参画の意識向上を図るためにも、更に若い現役世代の参加増を図り、全体的な参加者増につなげていく必要がある。

## 事業の概要

本事業は、男女共同参画の意識づくり、人権の尊重、家庭や地域・就業の場や防災等における男女共同参画の推進に  
取り組み、『「ひと」と「ひと」で築く、やさしく住みよいまちづくり』を理念におき、男女共同参画社会づくりを目指し、市民向  
けのイベントを通して、男女共同参画に対する啓発を図ることを目的に毎年開催している。

本年度は、市が「男女共同参画都市宣言」を行ってから15周年となることから記念事業として開催。

メインとなる記念講演には、市内に工場がある理化電子株式会社 代表取締役社長の戸田泰子さんを講師に迎えた。戸  
田さんには女性のロールモデルとして27歳で社長となり、2016年Forbes Woman Awardで革新をもたらすリーダー賞を  
受賞した自身の経験談などを語ってもらった。また、市内で男女共同参画推進を積極的に行っている事業者の表彰やロ  
ビーで啓発パネル展などを行った。

今回は市PTA連合会と共催、若い世代を取り込んだ市民向けイベントとして開催を図った。

(当初9月に開催を予定していたがコロナ感染拡大の影響で1月に延期。)

### 【内容】

- ・男女共同参画社会推進委員会・PTA会員・高校生によるテーマパネル唱和
- ・男女共同参画から15年の歩み(スライドショー)
- ・男女共同参画推進事業者表彰(市内の事業者 1社)
- ・記念講演 講師 理解電子株式会社代表取締役社長 戸田泰子さん  
演題『「人が会社を創る」から未来を創る～女性社長の挑戦～』
- ・男女共同参画啓発パネル展(ロビー)

